



### 株式会社日高報知新聞社様より寄付 青少年の読書指導に役立てて

8月8日、株式会社日高報知新聞社様(榎本淳一社長)は、教育振興寄附金として、町に5万円を寄附されました。

榎本社長は、「日高報知新聞は日高地方の生活情報誌として今年で創刊60周年を迎えることができました。60周年記念事業の一つとして、豊かな人間性を育む青少年の読書指導に役立ててもらいたいという願いで管内7町へ図書購入資金を贈呈することにいたしました。」と話されました。



### 谷岡麻由さん、谷岡真帆さんに町長賞 明るい社会を目指し、書道展を開催

7月下旬より、第62回「社会を明るくする運動」強化月間に伴う静内地区保護司会門別分区(星野明治区長)主催の書道展が開催されました。

8月6日には、最高賞である町長賞の授与が行われました。今年の町長賞は、谷岡麻由さん(厚賀中3年)と、谷岡真帆さん(厚賀中3年)のお二人です。

お二人は町長から賞状を手渡されると、笑顔で受賞を喜んでいました。



### 札幌医科大学吹奏楽部による 第12回サマーコンサート in 日高

8月11日、サンポッケで札幌医科大学吹奏楽部による「サマーコンサート in 日高」が開催されました。

同吹奏楽部は、毎年国立日高青少年自然の家で、この時期に合宿を行っており、その集大成としてサマーコンサートを開催しています。

会場を訪れた方々は、普段なかなか聞くことのできない、たくさんの楽器の生演奏を楽しんでいました。



### 門別空手スポーツ少年団の7人が全国大会へ 全国大会への決意を町長へ報告

4月から5月にかけて道内で行われた、第13回北海道糸東会全国選抜大会及び第32回北海道少年少女空手道錬成大会に出場した門別空手スポーツ少年団の7名が全国大会への出場を決めました。

8月10日には、出場を決めた選手らが役場を訪れ、町長へ全国大会への決意を伝えました。

全国大会出場選手

木田郁也さん、坂口翔さん、小玉颯人さん  
佐々木アリサさん、伊藤美月さん、伊藤結月さん  
深瀬稜汰さん



## 日高、門別両地区で戦没者追悼式 遺族らが戦没者の冥福を祈り黙禱

8月3日と17日の両日、平成24年度日高町戦没者追悼式が、日高地区、門別地区の各会場で開催されました。

17日に開催した門別地区では遺族と来賓の方々を含め約50人が参列し、戦没者の冥福を祈り黙禱を捧げ、献花を行いました。

門別地区遺族会の市原会長は、「悲しく辛い思いをした先の大戦が、近年は流れゆく平和な日々の中でだんだんと風化しようとしています。今一度この追悼式で平和のありがたみを感じ、伝えていくことが我々の役目である」と挨拶しました。



## 日高うまいもの市やたくさんのイベント開催 門別競馬場で「夏のケイバまつり」

8月14日から3日間、門別競馬場では「夏のケイバまつり」が開催されました。

日高管内の特産品の販売、ちびっこ縁日、ポニー体験乗馬、ヤマメ釣りやお笑いライブなどたくさんのイベントが行われ、3日間とも天気にも恵まれて、たくさんの来場者でにぎわいました。

日高うまいもの市では1串で日高の和牛が3種類味わえる日高三大和牛串や前浜産のたこ串、つぶ串の販売に行列ができていました。



## 園児たちによる畑作業体験 わかば保育所でジャガイモ掘りを実施

8月20日、門別わかば保育所の畑で園児たちによるジャガイモの収穫作業が行われました。

今回は、春に種芋を植えたジャガイモが収穫時期を迎えたのでみんなで掘り起こしました。園児たちは土の中から、スコップや素手でジャガイモを掘り起こして両手いっぱい抱え、大きいものを見つけると歓声をあげて喜んでいました。

先日は大根を収穫し、今後はえだまめ、にんじん、トマトを順次収穫する予定です。



## 富川南西スポーツクラブ主催 子ども夏祭りを開催

8月18日、昨年5周年記念で開催された子ども夏祭りを今年も勇和電工協賛にて開催しました。

クラブの目的でもある「子どもの元気な声が聞こえる地域」の一環事業として、多くの子どもたちがお祭りを楽しんでいました。

会場では射的や型抜きのほか、焼き鳥、焼きそば、チョコバナナなどをボランティアやサークルの方々の協力を得て出店、南西居住の子どもたちにはヨーヨー、ワンピースのプチタオル、お菓子などが無料で配られました。

午後6時30分から子ども盆踊りを開催し、午後7時にお祭りを盛会のうちに終了しました。